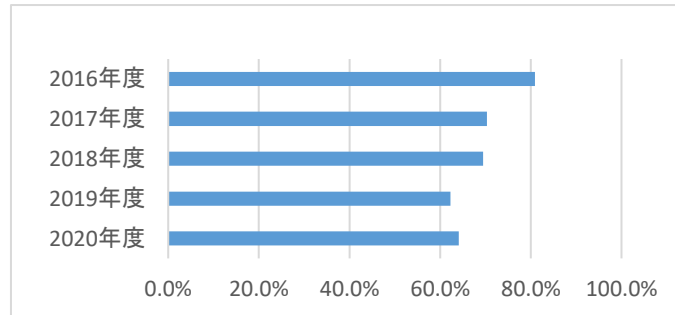


24. 日常生活機能評価が4点以上改善した重症患者の割合

分子:退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して4点以上改善していた患者数
分母:入院時の日常生活機能評価が10点以上であった患者

	4点以上改善した重症患者の割合(%)
2016年度	80.9%
2017年度	70.3%
2018年度	69.5%
2019年度	62.3%
2020年度	64.1%



日常生活機能評価とは:日常生活を送る為に最低限必要となる動作(日常生活動作)をひとりでどこまでできるかを0~19点の得点で評価するもので、得点が低いほど生活自立度が高くなります。